

令和2年度公益社団法人日光市シルバー人材センター事業計画書

1. 基本方針

令和2年度の事業計画策定に当たり、超高齢化社会の進行に加え、自然災害、コロナウィルスの感染拡大など様々な出来事による影響を受けている地域社会の中で、シルバー人材センターの目的と役割をいかに果たしていくかが大きな課題となっています。

高齢者の能力を活かした就業の提供、社会参加活動の支援を通じて生きがいの充実と福祉の増進を図り、活力ある地域社会づくりに寄与することを本来の目的とするシルバー人材センターは、このような社会情勢において一人一人の高齢者が持つ力と経験を社会に生かせるように事業を展開し、そのことにより個々の高齢者の希望を実現し、生きがいの充実、追加的収入などの成果を得られるようにすることが求められています。

しかしながら、65歳以上の定年引上げ等の再雇用制度導入、各業界での高齢者雇用の浸透により、新規入会される方が減少している状況です。また、労働者不足が各業界で表出する中、シルバー人材センターが引き受ける仕事の職種のうち、請負、派遣に限らず後継者、就業希望者が不足している職種がある反面、新たに入会する高齢者の希望が多様化し、きめ細かな調整を図ることが必要になっています。

このことから、本年度は昨年開始した未就業会員の就業相談、新規会員募集のための説明会、地域イベントでのPR活動の実施の機会を増やすとともに、新たな就業開拓のための事業所訪問を引き続き実施してまいります。

また公益法人としての責務を踏まえ、役員、事務局のみならず、会員ひとりひとりが仲間の会員を増やすことで新たな就業や働きやすい体制づくりにつながるように会員の意識を高め、連携するための研修会など様々な事業を積極的に展開してまいります。

2. 実施事業

	実施項目	実施事業	数値目標・具体的方策
1	組織拡大会員増強対策	①会員の募集、養成	・全シ協第2次100万人計画への取り組みにより2年度目標会員数585人の達成 ・入会説明会 毎月1回実施
		②各地域の自治会総会等で会員募集(4月～5月)	・市内9地域地区自治会長会及び自治会連合会での資料配布
		③「広報にっこう」への会員募集記事の掲載依頼	・年2回就業会員が不足している職種掲載
2	組織強化対策及び就業体制の整備	①職種班打合せ会議、職種班長会議の開催	・職種班打合せ会議 4月・9月 年2回 ・事務局や職種班同士の情報、意見交換 ・草刈班班長会議 年3回
		②就業に関する実技研修会の実施	・植木剪定講習会(外部講師) 1回 ・駐車場案内等作業会員講習会 1回 ・託児業務会員研修会 1回 ・ホームヘルプサービス会員研修会 1回 ・移送サービス従事会員研修会 1回

	実施項目	実施事業	数値目標・具体的方策
		③事務局職員の研修会、講習会への参加	・全シ協研修、関東ブロック研修への参加 ・商工会議所研修等の利用
3	P R 活 動 の 実 施	①イメージアップを目的としたホームページ活用	・事業の紹介、募集情報、事務局ブログ、児童クラブだよりの随時更新
		②会報「さわやか」市内全世帯配布	・年2回配布、会員の活動状況を中心とした内容で、市民の方にもセンターの魅力をPRできる、わかりやすい広報紙の作成
		③会員に対する啓発活動	・入会者勧誘の活動の奨励 ・会員の奉仕活動の実施、参加の呼びかけ
4	就 業 機 会 拡 充	①シルバー人材センターが行う仕事の情報発信	・ホームページに会報さわやか、料金表、具体的な仕事の事例の紹介を掲載
		②事業所訪問活動の実施	・新たな就業先を確保し、未就業会員に対する就業提供を図る。
		③ローテーション就業推進	・1人就業の委託契約の見直し
		④就業の長期化の是正	・5年以上就業ケースを見直し、必要に応じ、会員交替、職種転換を図る。
		⑤就業相談会の実施	・就業の悩みや不安、要望に応える。
5	独 自 事 業 の 推 進	①地域巡回刃物研ぎ	・15回、延就業60人日、事業収入450千円
		②杉並木観光ガイド	・延就業55人日、事業収入93千円 ・市縁ひろばでのガイド活動
		③陶芸制作販売	・延就業100人日、事業収入70千円
		④手打ちそば販売	・毎月定期販売 目標販売数630食 ・そば打ち会員の後継者の確保と育成
		⑤シルバー人材センターまつり	・延就業300人日、事業収入1,000千円
6	職 業 紹 介 事 業 推 進	高齢者職業紹介事業の実施	・定期的な契約の継続の確保 ・新規の紹介事業への積極的な取り組み
7	労 働 者 派 遣 事 業 拡 大	①派遣事業の適正契約	・改正派遣法の遵守
		②派遣契約の周知・拡大	・毎月の入会説明会で派遣資料配布 ・派遣契約延15件、就業延1,900人日
8	福 祉 ・ 家 事 援 助 サ ー ビ ス 事 業 の 推 進	①暮らしのお手伝い事業	・就業延600人日 実績3,000千円
		②生活支援ホームヘルプサービス事業	・就業会員確保 15名 ・ホームヘルプサービス会員研修会実施
		③移送サービス事業	・市社会的孤立防止見守り事業への協力

	実施項目	実施事業	数値目標・具体的方策
9	子育て支援事業の推進	①放課後児童クラブ事業の就業体制の整備、強化	・児童クラブ班長会議 年10回 ・各クラブ指導員打合せ会議 月1回
		②子育て支援事業に関わる研修の実施、資格取得研修の受講の奨励	・放課後児童支援員資格取得 ・放課後児童支援員初任者、中堅者研修等のフォローアップの受講奨励 ・内部研修2回、外部研修4回
		③提供するサービスの充実	・児童の食育、健康面のケアの充実 ・防火防災体制の強化、避難訓練の実施 ・わくわく学び教室の実施
10	会員の安全保持・健康管理及び適正就業	①会議、研修会の実施	・安全・適正就業委員会 年3回 ・交通安全研修会 1回 ・駐車場案内係講習会 1回 ・冬期運転に関する講習会 1回 ・事故多発職種の研修実施 随時
		②会員への意識啓発	・安全・健康管理に関する情報提供 ・就業に関するモラル、マナー向上の啓発
		③安全標語募集、表彰	・年1回 募集、優秀作品の表彰
		④外部研修への参加	・連合会主催の安全研修へ会員・職員参加
11	適性な公益法人運営	①公益法人に相応しい運営体制の構築	・行政庁への適切な報告、情報開示および財務の健全化等の推進。
		②業務執行体制の整備	・法令および定款を順守した法人の運営 ・議事録他、関係資料の適切な管理、保存および公開 ・良好な財務状況、適正な会計処理の継続
		③中期計画の策定	・センター事業の目的の実現のため、有効な事業展開、拡大のため、将来的な方向性を示す指針として、中期計画策定に着手する。